

就任のごあいさつ



南越前町長
増澤 善和

三つのお

対話・調和・融和をモットーに

この度、南条町と今庄町、河野村の三町村の合併に伴う、初の南越前町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、各方面の方々からのご信任を賜り、町政を担当させていただくことになりました。一月一日に誕生した南越前町であります。それまでの約二年強、合併協議会長として目標に向かいながら、大きな責任を負って取り組んできました。それらを生かして、新しいまちづくりを任せようという、町民の皆さんの温かいご支援のおかげで大変感謝するとともに、その責任の重大さを痛感しています。自分の人生の

総仕上げとして、力いっぱい新町のために働きたいと考えています。

私の南越前町の町政運営におけるモットーとして、「対話」「調和」「融和」の三つの言葉を基本にしたいと思っております。これらは、合併協議会で行っている協議してきた中で、私が得てきた大切な言葉であります。

まず、対話についてですが、これはよく話し合うということです。

合併しての新しいまちづくりを進めていく上で、町民と行政がよく話し合うということは必要不可欠で、問題解決の糸口となると考えています。対話

新町長の紹介・略歴

- 増澤 善和 (ますぞわ よしかず) 南越前町牧谷77-5 73歳
- ・昭和29年 福井大学教育学部卒
中学校及び高等学校教諭を経て、県立武生高等学校教頭、
県立武生工業高等学校校長を歴任、38年間教育者として、
学校教育に携わる。
- ・平成8年10月 南条町教育長
- ・平成11年11月 南条町長
- ・平成17年2月13日 南越前町長就任

により、より広く、より深い視点で様々な施策に取り組み、住民参加となる行政展開に努め、また、私をはじめ職員も、話し合うことによる意思疎通を大切に、まちづくりに臨んでまいります。

次に、調和ですが、これは全体がほぐれよくなりあってまとまっていることです。合併を進めてきた中で、南条、今庄、河野の地域それぞれの違いを感じてきました。地域の文化的なものと政治的なこと、さらに考え方がさまざまですが、これらを明確に、また一律にひとつにしよつとすると大変無理があります。違いは違いとして認めながら、まとまっていく、それぞれの出す音階は違っても、混ざり合うことで美しいハーモニーを奏でていく、そのようにまちにできたらと考えています。最後に融和ですが、これは溶け合っ

てひとつになることです。合併協議会でも、さまざまな意見、考え方がありました。しかし、この南条郡三町村で合併していきつと心の溶け合いがあったからこそ、合併が実現したのだと思います。今後、新町のまちづくりを担当させていただくにおいて、町の人たちの心の融和、これこそが南越前町の発展に欠くことのできないものだと強く感じています。それぞれの地域が培ってきた歴史や伝統、文化、気風、そしてさまざまな社会資本等を大切にしながら、皆が南越前町の建設に心を溶け合わせることでできたら切に願っています。

これら三つの言葉をこれからのまちづくりの、そして施策の企画立案のキーワードに捉え、施策展開の基本としたいと思っております。

新しいまちづくりに前進

次に、新町「南越前町」のまちづくりに対する、私の基本方針についてご説明します。

一、「新町建設計画」に沿ったまちづくりの推進

「新町建設計画」は、新町の速やかな一本化を促進し、地域の発展と住民福祉の向上を目的に、合併協議会で約三年をかけて練り上げたものです。活力ある、住民主体のまちづくりを目指すための、新町の基本理念や基本施策、財政計画などが盛り込まれており、これに沿い、今後実践的なまちづくりの施策を決定し、実行してまいります。

一、行財政改革による財政基礎の強化

これは、地方分権の時代となり、自立したまちづくりを進めていくことから大変重要なことです。合併により行政規模が拡大したことで事務の効率化が図られていくことから、その人員や財源の余裕を見通しながら活用し、まちづくり施策の実行を心がけ、合併の効果を最大限に早く引き出してまいりたいと考えています。

一、国道305号や476号、重要地方道の道路網整備の推進

国道305号や476号をはじめとする幹線道路及び重要地方道の整備を促進するなど、町民の皆様にとって、利便性のある道路網づくりを行ってまいります。また、305号については、今年度、国に新規採択して頂いたホノケ山トンネルを一日も早く完成し、河野地区と南条・今庄地区を結ぶ道路となるように働きかけてまいります。

一、観光ゾーンの振興とそれらと共存できる農林漁業、商工業の活性化

南越前町には、豊かな自然と貴重な史跡、文化、特産などが多くあります。それに加え、海水浴場やスキー場、温泉施設や新しい体験型施設などもあります。これらの持つそれぞれの特徴を最大限に活用し、様々な体験のできる特色ある観光ゾーンとしての創出を図ります。また、地域特有の産業を再認識し、地域と連携しながら、自然や史跡と共存できるような、農林漁業、商工業の活性化を図ってまいります。

一、教育・福祉の充実と男女共同参画社会の形成

南越前町の将来を担う子どもたちが感性豊かに、健やかに育ち成長していくよう、幼児教育、学校教育環境の整備に努めていきます。また、社会教育施設やスポーツ施設の整備、学習機会の場などを設け、社会教育の充実を図ってまいります。また、少子高齢化の進展に対応しながら、子育て支援、高齢者の生きがい支援策などを講じたり、性別にかかわらず、誰もが個性や能力を発揮でき、お互いの人権を尊重していける、住み易い社会の実現に取り組んでまいります。

一、安全で安心なまちづくりの推進

昨年は、福井豪雨や中越地震など、国内外で災害が多く発生した年でありました。南越前町においても、山間地や海岸沿いの急傾斜地などを持つことから、災害を未然に防ぐ体制づくりに力を注ぎます。また、交通安全や消防などの日常生活の安全についても体制を整備し、各種災害防止計画を策定するなどして、町民が安心して暮らせる、不安のないまちづくり体制に取り組んでまいります。

一、地域情報ネットワークの整備

今や、地域情報ネットワークの構築は、特色ある観光情報や新しい行政情報の発信、防犯等のすばやい対応に欠かせないものです。新しい町に即した情報提供体制の整備となるよう、情報通信基礎の整備や双方向通信に積極的に取り組み、スリムで質の高い行政体制を構築し、町民サービスを充実させ、まちづくりに繋げてまいります。

以上、これからのまちづくりにおける基本方針等を述べさせていただきました。これからの四年間、旧三町村が有した清水、農地や山林、歴史ある町並みや史跡、各種施設など、それぞれの特徴を大切にしながら、新しいを加え、新生南越前町の基礎づくりに心を尽くし、誇りあるまちづくりの構築に邁進していく所存です。

町民皆様方の温かいご支援ご協力、ご理解をお願い申し上げます。

